

大学生の運動実施率向上
のための提言
～早稲田大学から考察する～

2014/11/09

早稲田大学 武藤ゼミA

小山翔太・相原優稀・浅海萌子

田中直祐・藤井英貴

目次

◆緒言

◆現状

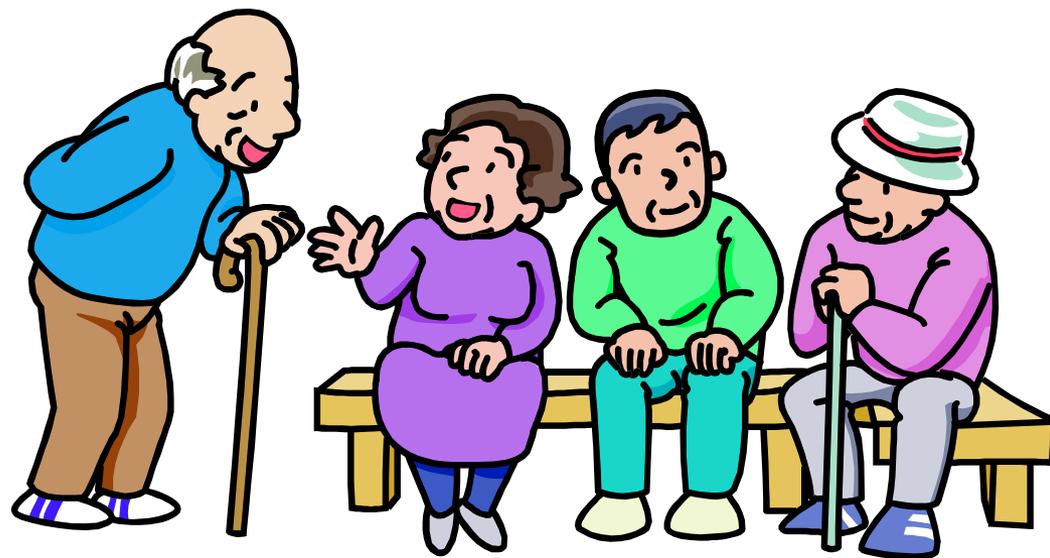
◆提言

◆提言からの展望

◆まとめ

◆参考文献

緒言—少子化の現状—



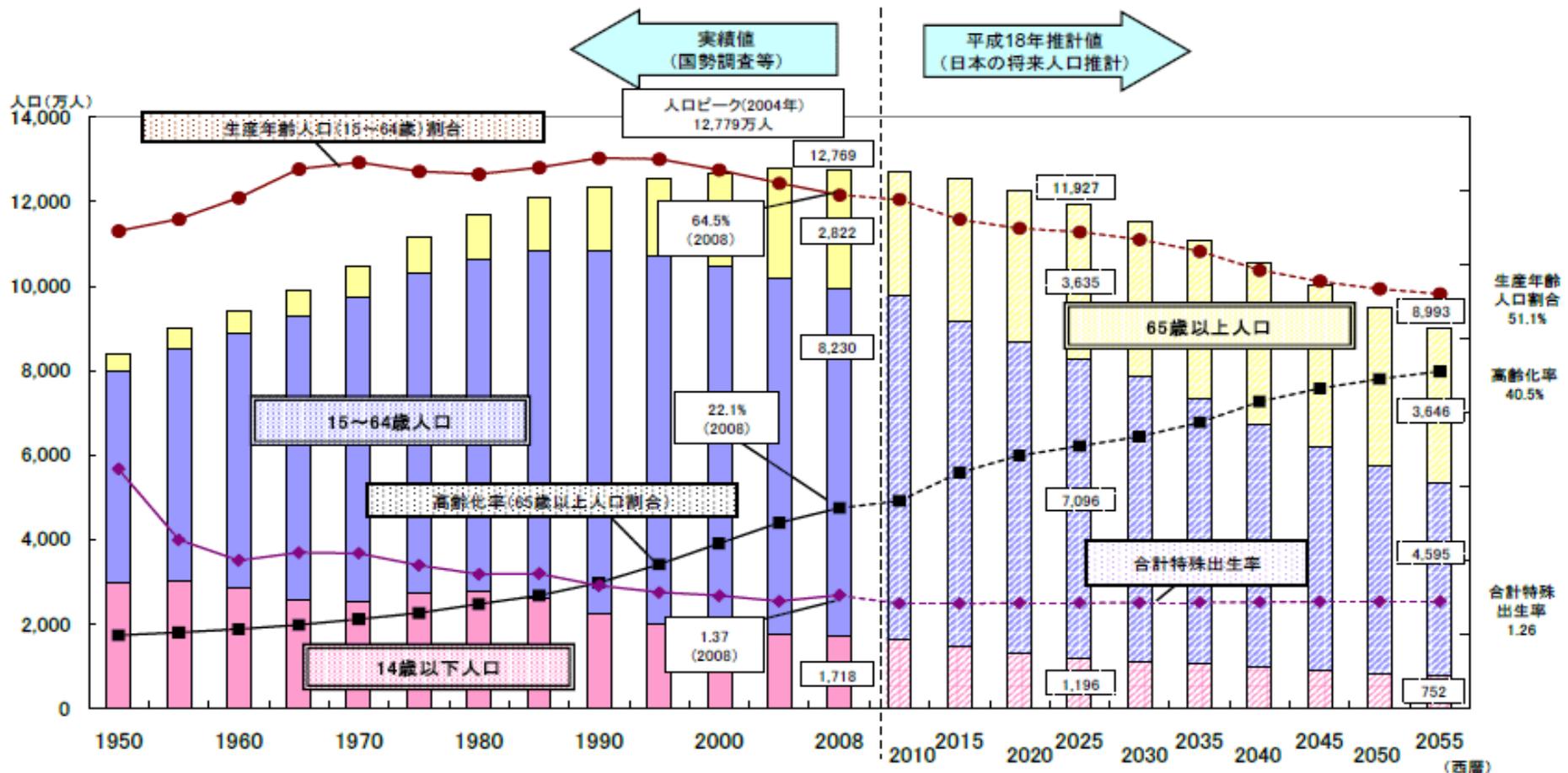
緒言—少子化の現状—



緒言—少子化の現状—

我が国の人口の推移

○我が国の人口は2004年にピークを迎え、減少局面に入っている。2055年には9000万人を割り込み、高齢化率は40%を超えると推計されている



少子高齢化が進むと、、、

社会保障給付の増大

緒言—社会保障費—

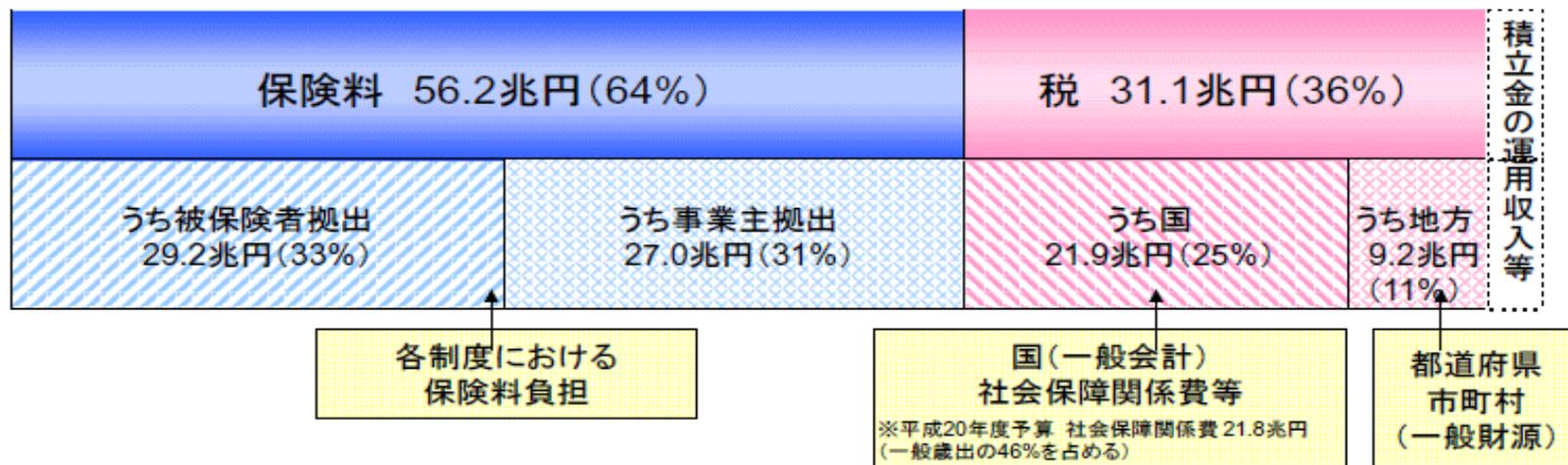
社会保障の給付と負担の現状

社会保障給付費 平成18年度(実績) 89.1兆円 (対国民所得比 23.9%)

【給付】



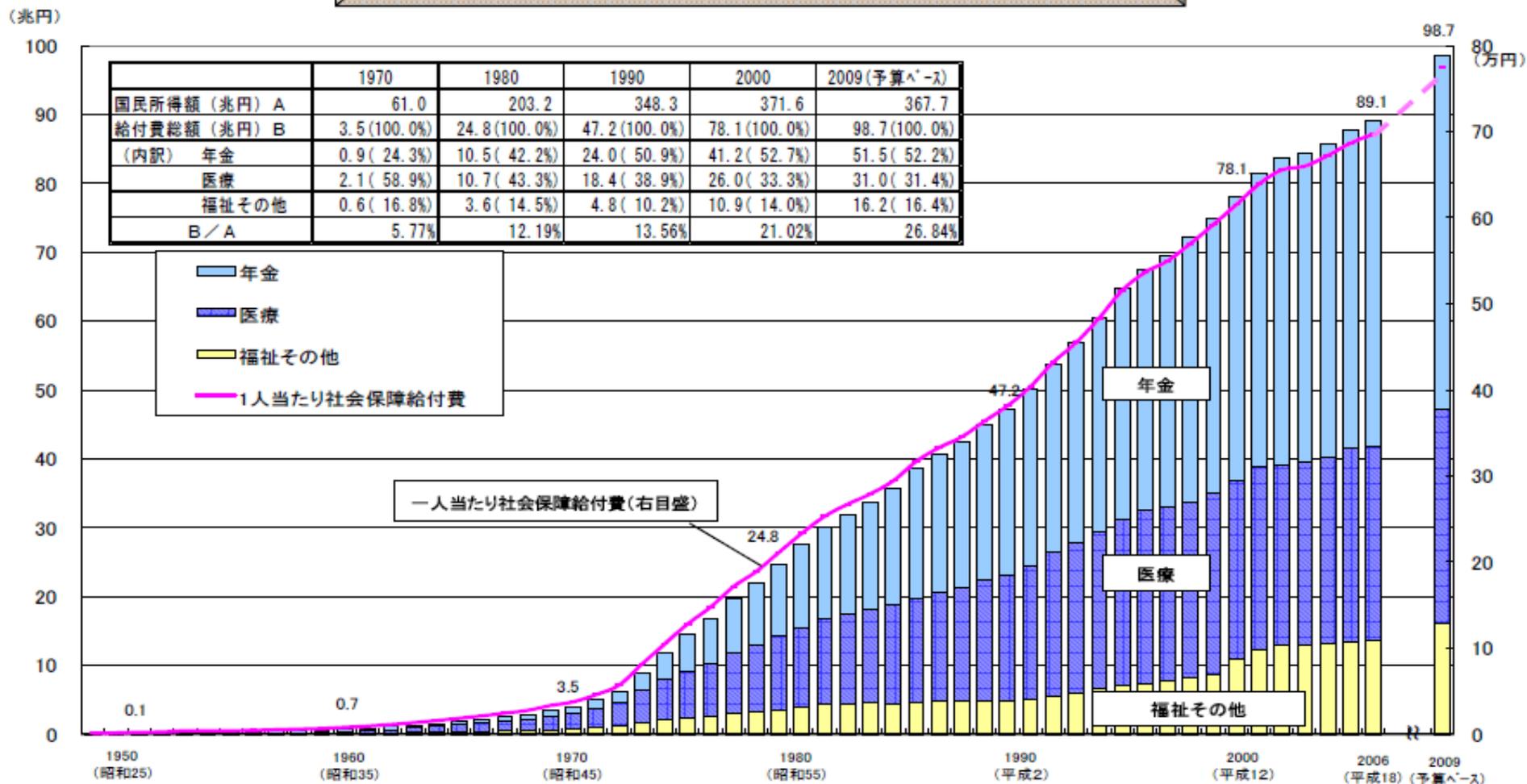
【負担】



※ 社会保障給付の財源としてはこの他に資産収入などがある

緒言—社会保障費—

社会保障給付費の推移

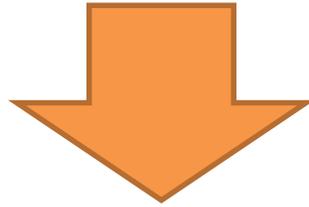


資料: 国立社会保障・人口問題研究所「平成18年度社会保障給付費」、2009年度(予算ベース)は厚生労働省推計

(注) 図中の数値は、1950, 1960, 1970, 1980, 1990, 2000及び2006並びに2009年度(予算ベース)の社会保障給付費(兆円)である。

(参考) 一人当たり社会保障給付費は、2006年度で69.7万円、2009年度(予算ベース)で77.5万円である。

医療費への負担を軽減したい



生産年齢の拡大を目指す

健康の維持



スポーツを活用！



緒言—スポーツ基本法条文—

『スポーツは、心身の健全な発達、
健康及び体力の保持増進、

(中略)今日、国民の生涯にわたり

心身と生活とを営む上で

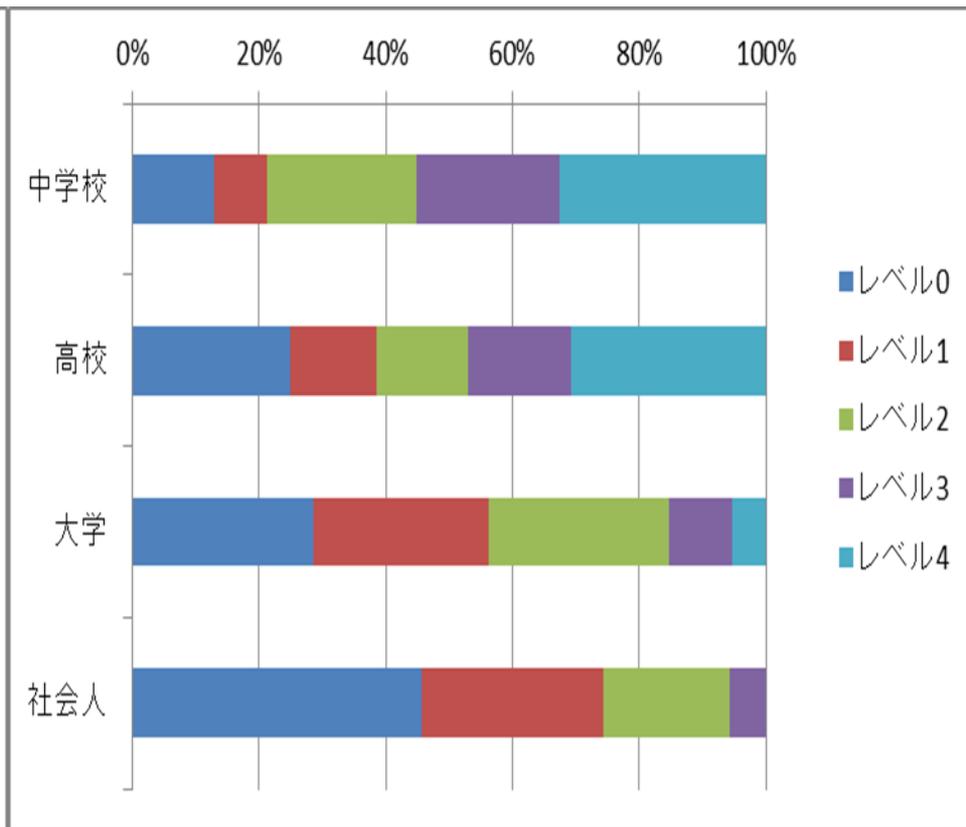
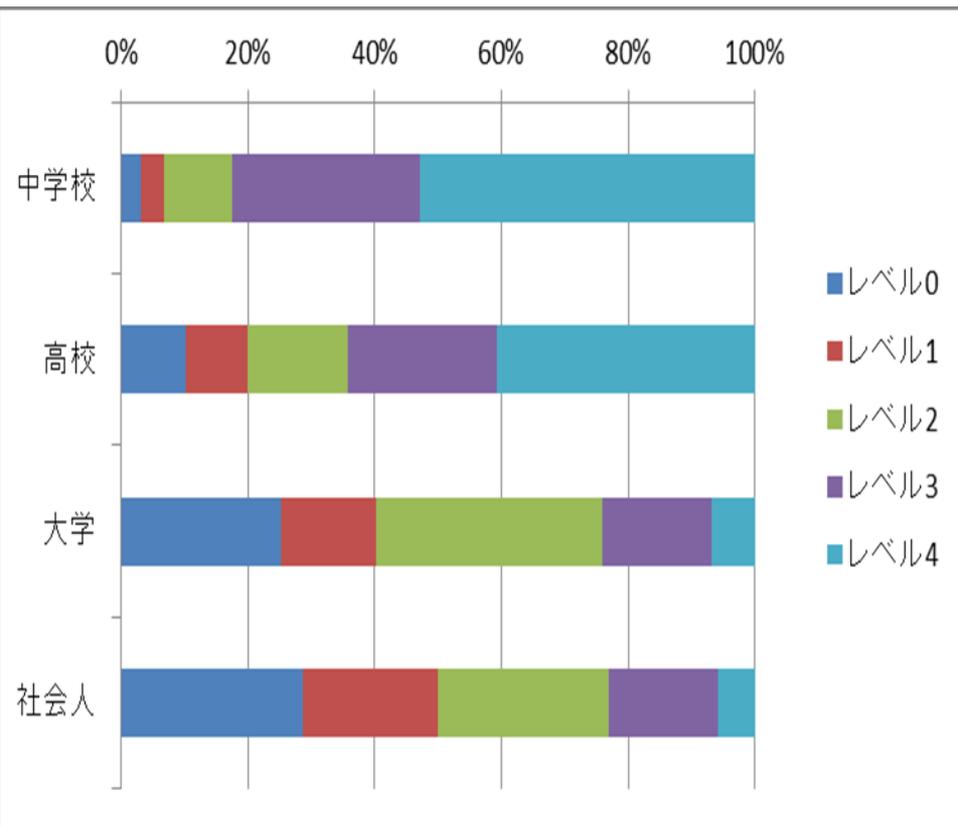
営む上で『生活を支えている』

しかし!!!

現状—運動実施率—

左: 男性

右: 女性



(レベル)0: 過去1年間に全く運動をしなかった 1: 年1回以上、週1回未満 2: 週1回以上、週5回未満

3: 週5回以上 4: 週5回以上、1回120分以上

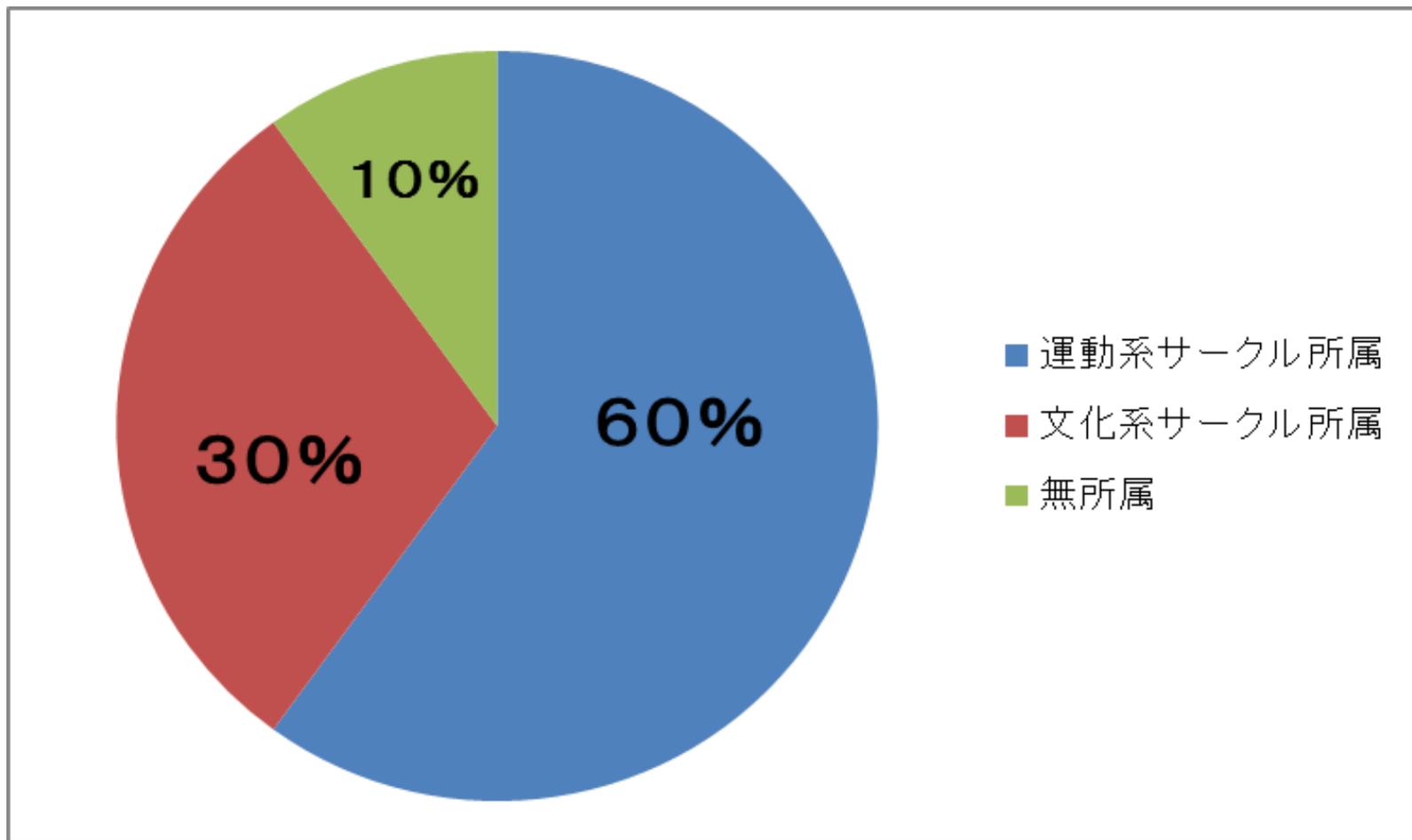
早稲田大学学部生を対象に アンケート調査を実施



現状—アンケートの概要—

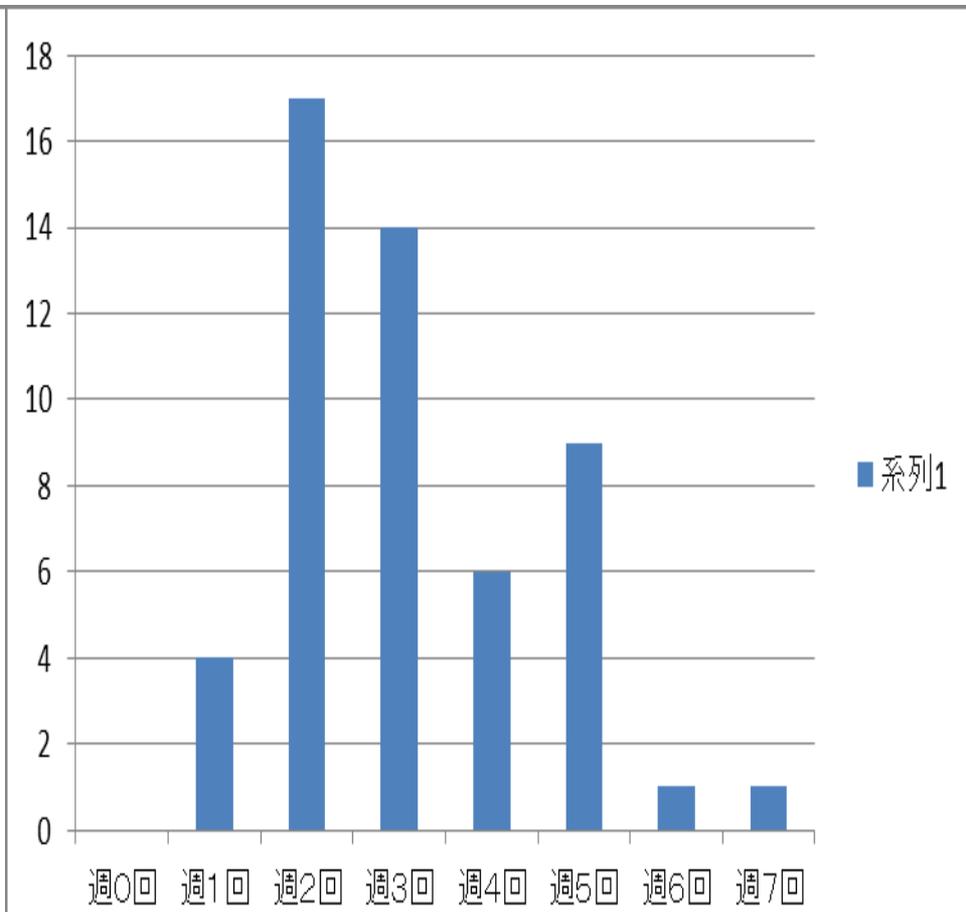
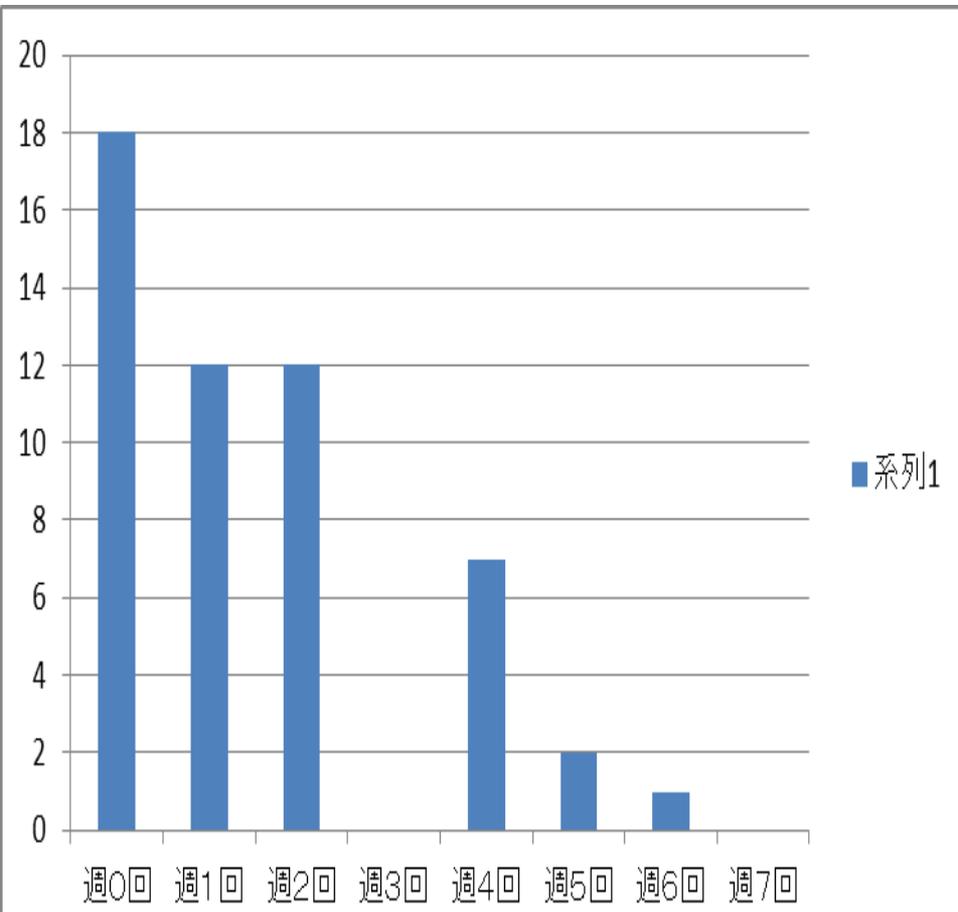
- ▶スポーツ科学部を除く早稲田大学生を対象
- ▶体育各部所属生は対象外
- ▶早稲田大学学部生数：約4万4000人
体育各部生：約 2400人

現状—早稲田大学—



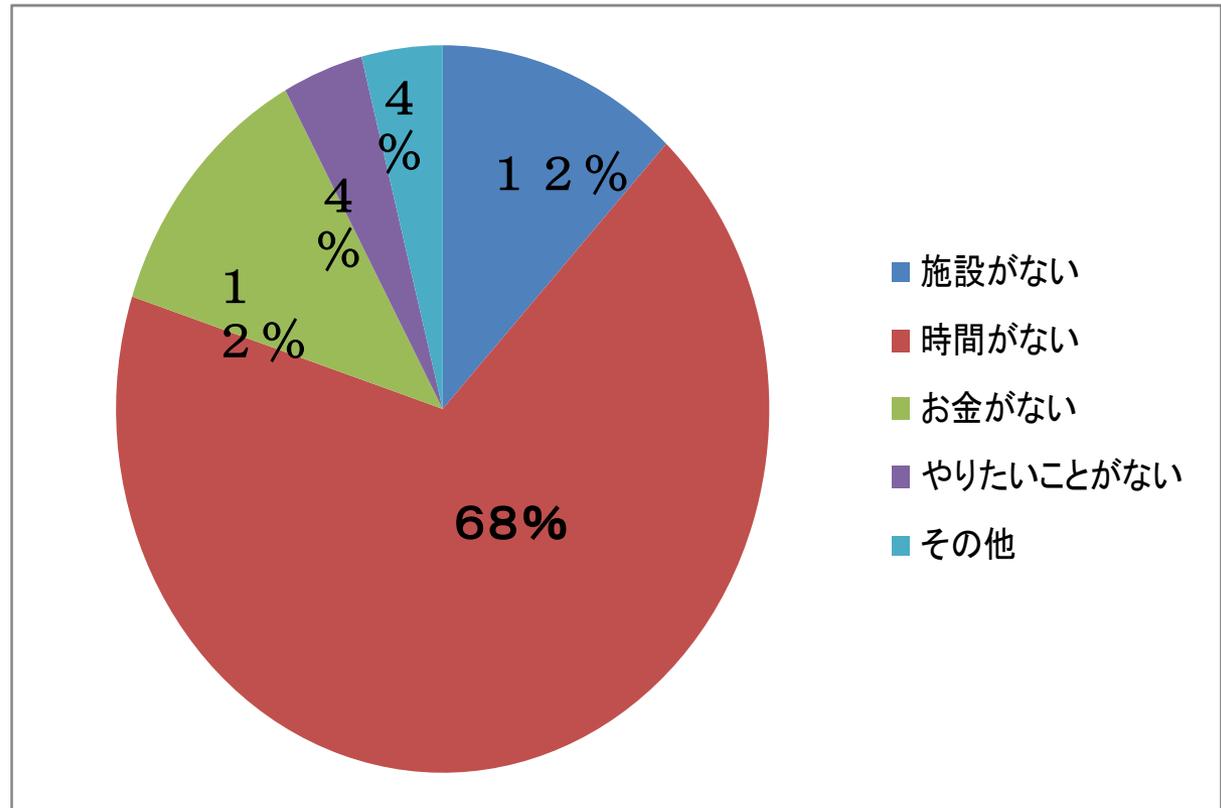
現状—アンケート結果—

- 現在の運動実施率(左)と理想の運動実施率(右)



現状—運動できない理由—

- 時間がないこと
- お金がないこと
- 場所がないこと



現状一まとめ一

サークルに入ってるけれど、
勉強やアルバイトで忙しくて
なかなか活動に参加できない…



運動はしたいけれど、
いい場所が見つけれない。
お金もかかるし…



現状—まとめ—

時間がない

お金がない

場所がない

時間

お金

場所

大学施設で
解決

A large, vibrant red starburst graphic with multiple sharp points, centered on a white background. The text is placed in the middle of this graphic.

体育準必修化

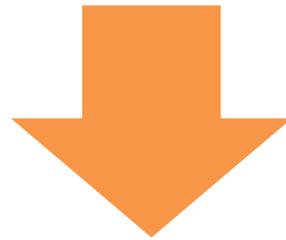
提言—体育準必修化—

- ▶現在の早稲田大学の卒業単位は124単位
(教育学部、理工学部を除く)
- ▶体育を履修しなかった場合は8—10単位を
卒業単位124単位に上乘せする。
- ▶年1回以上4年間継続して履修した者にはイン
センティブとして実習単位と別で8—10単位を
免除。

ターゲットは高校卒業まで運動していたが、
大学進学を機に運動しなくなった人

提言—体育準必修化—

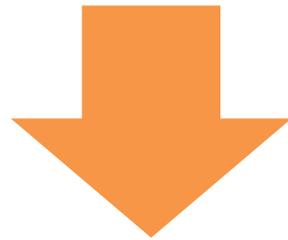
時間



アルバイトやその他私生活の
影響はない

提言—体育準必修化—

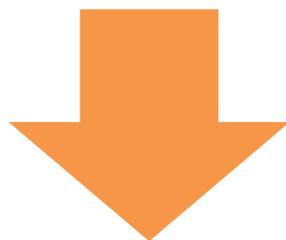
お金



学費に含まれるので追加
でかかる心配はない

提言—体育準必修化—

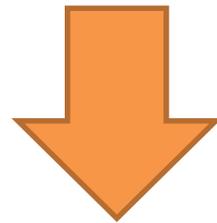
場所



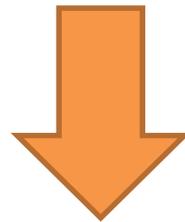
大学施設で賄える

提言からの展望—社会—

運動実施率増加



国民の健康寿命の延長



医療部門の支出を軽減

提言からの展望—学生—

①時間・お金・場所を補い
運動できる

②卒業単位免除のインセンティブを
得ることができる

提言からの展望—大学—

企業が求める人材

コミュニケーション能力・協調性



就活で成功する学生

社会に出てから活躍する学生の輩出



大学の知名度・好感度の上昇

(就職実績)



優秀な学生の獲得





この政策を
きっかけに

大学生が日頃から
運動するようにしたい



参考文献

▶厚生労働省 政策レポート

<http://www.mhlw.go.jp/seisaku/2009/09/03.html>

▶文部科学省 「スポーツ基本法(平成23年法律第78号)(条文)」

http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/kihonhou/

▶笹川スポーツ財団 「10代のスポーツライフに関する調査 運動・スポーツ実施レベル」

▶早稲田大学 「情報公開」

<http://www.waseda.jp/top/about/disclosure>

▶早稲田大学競技スポーツセンター

<http://waseda-sports.jp/unit/>

ご清聴ありがとうございました